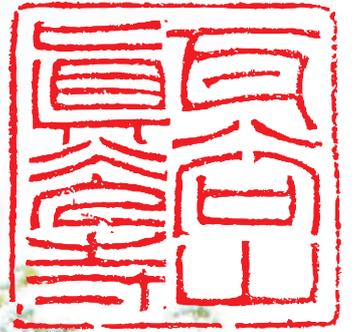


瓦谷山



瓦谷山だより



発行日 2019年2月20日
発行人 (宗) 真光寺
岡本和幸
印刷 現代社
編集 (宗) 真光寺

問い合わせ先
(宗) 真光寺
TEL 0438-75-7414

◎お寺HP
<http://www.shinko-ji.jp>
◎上総自然学校HP
<http://www.shinko-ji.jp/satoyama/>
◎お寺ブログ【瓦谷山だより】
http://shinkoji.cocolog-nifty.com/ne_ws/

vol.40

写真:佐竹茉莉子さん

ごあいさつ

また花の季節がやってまいりました。自然あふれる当山では年々たくさんのお花が咲くようになっていきます。それは木がどんどん成長するからです。春の花は毎年の楽しみです。

さて私はシャンティ国際ボランティア会の専務理事を務めています。海外は苦手、旅行も苦手、アジアも苦手、そもそもシャンティの熱心な会員であったわけでもありません。ただ貧困にあえぐ子供達のためにならんと、細々と支援を続けていただけなのです。しかし縁あって理事になり、二期目には専務理事になってしまい、各国事務所を訪ねたり、事業視察をしなければならず、昨年もネパール、タイ、ミャンマーの三カ国を訪問しました。毎回お腹を壊し、つらいし、疲れるしと思っていました。さすがにだんだん慣れてきて、去年タイで行われた「難民子ども文化祭」に参加する旅では、お腹を壊すこともなく、飛行機にも慣れ、少しづつ余裕も出てきました。

難民子ども文化祭は、一九九六年から二〇〇六年の間にシャンティの各国事務所が主催していた「アジア子ども文化祭」を引き継ぎ、二〇〇九年より毎年開催されてきました。その目的は伝統文化の保護と、一時的な避難場所という位置づけにある難民キャンプにおいて様々な民族間の文化理解を促すことです。難民キャンプの住民の多くはカレン族ですが、その他にもビルマ、パオー、アラカンなど様々な民族が暮らしています。今回開催場所となったヌポ難民キャンプでは、大きく分けて八つの民族が暮らしており、各民族の子どもたちがこの文化祭に参加しました。

今年のテーマは「平和」でした。キャンプリーダーからの挨拶には、「このイベントは異なる文化を持つ人が集まり、互いを理解し合ういい機会です。今日感じたことを今日で終わらせずに、将来も気持ち

を持ち続けましょう。難民キャンプから平和を作り、ミャンマー本国へも平和を広げましょう」という素晴らしい言葉がありました。

この文化祭で、子どもたちは生まれて初めて多くの人々の前で自らの民族に伝えられてきた文化を披露します。子どもたちの親はもちろんのこと、多くの住民が集まり、パフォーマンスを見届けます。どの民族の子供たちもそれぞれに誇りを持ち、自信を持ってパフォーマンスをしたのが印象的でした。

私も日本代表として、急ぎよあつらえた衣装で舞台上がり、盆踊りのようなビミョーな踊りを披露し、拍手喝さいを浴びました。そして祭りのフィナーレでは難民キャンプの様々な部族の人々と手を繋ぎ、歌を歌い、みんな涙を流しながら互いを称え、喜び、抱き合い、平和を祈りました。そんな輪の中に自分がいたことが幸せでした。キャンプの人々は口々に主催団体である私たちへ感謝の言葉をかけてくださいました。

実はこの難民子供文化祭は、私が東京の東長寺で七回行った「東長寺アジア祭」をヒントに始まったと言われています。残念ながら難民子供文化祭は昨年で終了となりましたが、最後の文化祭に出席できて、不思議なご縁を感じました。

本年をもってシャンティ理事の任期は終了しますが、まだ抜けられそうにもありません。不在が続きますが、ご理解をお願い申し上げます。紫陽花ロードも少しずつ華やかになってまいります。皆様のご参詣をお待ちしています。

合掌

真光寺住職 岡本和幸



行事報告

◇ 囲碁の会

十一月二十九日、三十日の二日間で真光寺囲碁の会を開催しました。今回は参加者も多く、とても賑やかな会となりました。

囲碁を楽しんだあと、夜は恒例の忘年会となり、自家製の料理やお酒を囲み、皆で楽しく過ごしました。



二日目のお昼は真光寺の蕎麦打ち名人が美味しいお蕎麦を振舞いました。

囲碁の会は日帰りでも参加できます。自信のある方、初心者問いません。是非一度ご参加下さい。

◇ 戒名を考える会

十二月五日は戒名を考える会を開催し、今回は縁の会員七名にご参加いただきました。午前は戒名を考えるにあたっての基礎知識を住職から学び、これを元に午後はそれぞれに自分の戒名を考えていきます。

今回は参加者全員、自分の戒名を自分自身で考え、住職の承認をもらうことができ、大変有意義な会になりました。皆さん、七日法要の授戒式で正式にこの戒名を住職より授かります。



◇ 餅つき

十二月二十八日は山内で餅つきを行いました。今年は二十二升の餅をつき、各御堂にお供えする鏡餅とのし餅を作りました。縁の会員の方やお参りの方にもお手伝いしていただき、無事お正月の準備が整いました。



◇ 修正会（しゅしようえ）

一月三日は修正会の法要を執り行い、御参詣の檀信徒の家内安全、厄除け、所願成就を祈念いたしました。法要の後は、動物ものまねをする寄席芸人、江戸家まねき猫さんによる落語風な動物ものまねを披露していただき会場が沸きました。



◇ 七日法要（十二月・一月）

十二月 午前の法要の後、伽藍の大掃除を行いました。ご参加いただいた皆さんには一生懸命掃除をしていただき、とても綺麗になりました。

一月 午前の法要の後、午後からは年頭祈禱法要とお焚き上げを行いました。この日の昼食は皆で楽しく餅をついた後、つきたての餅をいただきました。



写真家 亀井拓也 『地域猫作品展』開催中

二月九日（土）～三月十日（日）

期間中、真光寺の各お堂に常設展示されています。公園の猫たちの姿に写真家自筆のメッセージが添えられた形の作品展です。

薬師堂（慈嶽堂）並びに坐禅堂建設計画

薬師堂の概要

住職 岡本和幸

建設予定の薬師堂は、間口六間・奥行き六間の方形造（ほうぎょうづくり）です。木造二階建てで一階は坐禅堂、二階は薬師堂になりますが、斜面にかかるので、境内からは薬師堂だけが見えるようになりません。隣接の書院とは簡易な回廊で結ばれます。堂内には左右に位牌壇を設けます。観音堂の位牌壇が全て埋まったのちに第二位牌堂を兼ねることになります。

真光寺の建物は、仏殿・書院が鎌倉禅宗様式、食堂（じきどう）・観音堂が平安様式をイメージしたのですが、薬師堂は江戸期に完成された数寄屋様式に近い造りとなります。

真光寺の中心

お寺の中心は、普通であれば本堂です。ご本尊をお祀りするお堂だから本堂というのですが、真光寺には仏殿はあっても本堂がありません。真光寺のご本尊は、仏殿にお祀りされているお薬師様だと思われている方がいるかもしれませんが、実はご本尊は、書院に安置されているお釈迦様なのです。お釈迦様は三百五十年以上にわたり、この地で檀信徒の皆さんやこの地域の人々を見守ってこられました。

現在の伽藍を建築するにあたって、当初は書院内にご本尊を安置し、寺の運営が軌道に乗ってから相応の本堂を建立しようと考えておりました。

新伽藍計画については、東京四谷の東長寺住職瀧澤和夫老師より多大なご助力を頂戴いたしましたし

たが、老師は新伽藍の落成を待たずに惜しくもご遷化されました。そして老師の本葬後、葬儀斎場設営に用いられた木材をご寄進いただくこととなったのです。そこで書院前の東側敷地に一字を建立し、そのご遺徳を顕彰すべく設計を進めていたところ、施工会社の倒産というアクシデントに見舞われ、建設断念へと追い込まれてしまいました。しかし後日を期し、加工済みの材木は大切に保存しておりました。

今回、ようやくその材木を用いて念願の堂舎を建設し、仏殿のお薬師様を遷座する運びとなりました。そしてご本尊のお釈迦様には書院から仏殿へとお移りいただきます。

古来より、寺院では創建した僧侶を「開山」と称し、創建する際に土地や建物を寄進した檀越（だんおつ）を「開基」として、どちらも大切に祀りしています。残念ながら真光寺の開基様のお名前は今に伝わっておりませんが、真光寺では新たな一步の礎を築いてくださいました慈嶽和夫大和尚を中興開基にお迎えし、御位牌を観音堂に安置しております。そしてこのたび建立する薬師堂の別称に中興開基様の道号「慈嶽（じがく）」を頂戴し、「慈嶽堂」といたします。



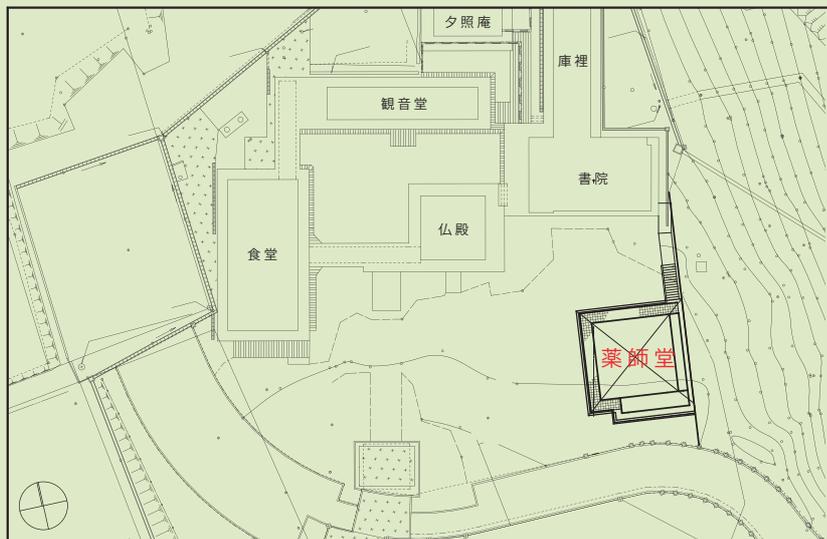
中興開基である慈嶽和夫大和尚（瀧澤和夫老師）のお位牌



薬師堂外観イメージ



薬師堂内観イメージ



真光寺の伽藍配置

穆照禅筵（ぼくししょうぜんえん）

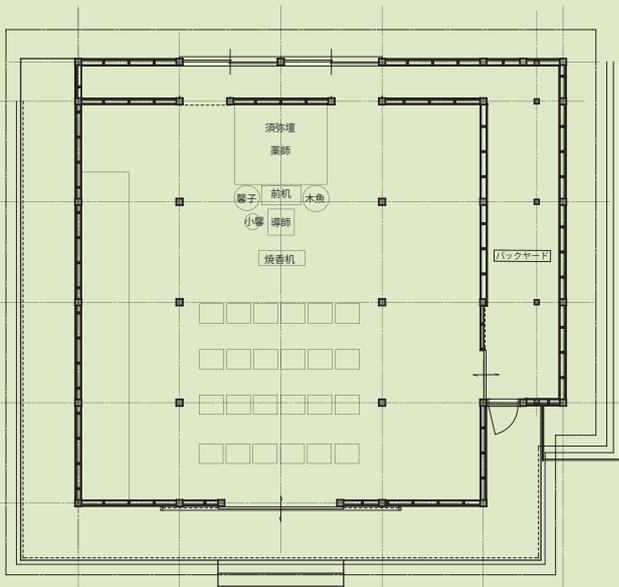
私の師匠である谷本順応老師が真光寺に入山したのは、昭和四十五年のことでした。その機縁となったのが、駒澤大学大学院の学生有志が集い、積徳の老師を招き真光寺の旧本堂において坐禅修行を営まれた「穆照禅筵」です。若き学生の中には、後に駒澤大学学長となられた大谷哲夫老師、京都の智源寺専門僧堂堂長の高橋信善老師がおられ、両老師には長らく当山の責任役員をおつとめいただきました。穆照禅筵の名の下、若き日に真光寺で研鑽を積まれた有縁の皆々様の志を受け継いでいきたいという思いが、里山の禅センターを目指すという真光寺の基本方針につながっています。

薬師堂一階部分の坐禅堂開単のあかつきには、倉庫に眠っていた「穆照禅筵」の銘板を再び掲げ、里山の禅センターとしての役割をこれまで以上に進めてまいりたいと願っております。

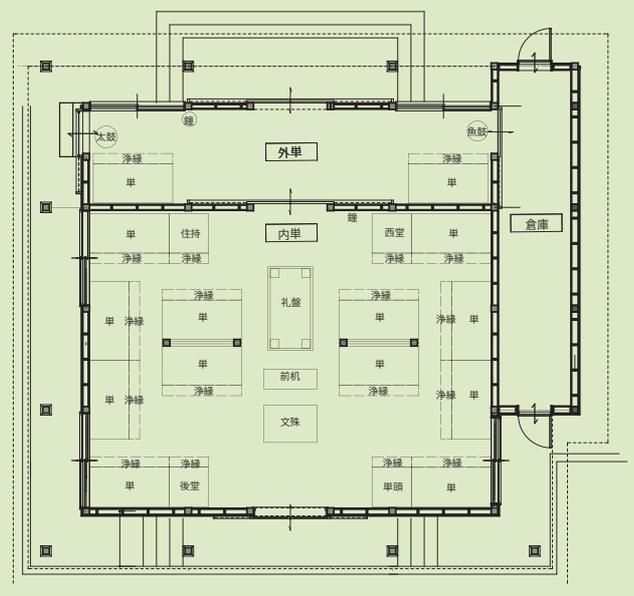
観音堂のお位牌について

縁の会会員の方々のお位牌を安置する観音堂は、現在位牌壇の五分の三が埋まり、残りわずかとなりました。観音堂位牌壇が満牌になりますと、以後は薬師堂にお祀りすることとなります。縁の会員の皆様の中でまだ授戒をされていない方はご注意ください。毎月の七日法要の授戒式、またはご家族のご法事の際に授戒し、お位牌を観音堂にお祀りすることが出来ます。詳しくはお問い合わせください。

〈2F 薬師堂間取り〉



〈1F 坐禅堂間取り〉



ご寄進者ご芳名

金 伍拾 万円 上田隆造 様

上田幸江 様

金 拾 万円 川村富悦 様

金 参 万円 山足健一 様

杉澤好節 様

ご寄進いただき心より御礼申し上げます。皆様からのご寄進は諸堂建立に充てさせていただきます。食堂の寄進芳名単にお名前を記し、永く寺録に残させていただきます。

2019年 年回表

一	周	忌	平成	三十	年
三	回	忌	平成	二十九	年
七	回	忌	平成	二十五	年
十三	回	忌	平成	十九	年
十七	回	忌	平成	十五	年
二十三	回	忌	平成	九年	年
二十七	回	忌	平成	五年	年
三十三	回	忌	昭和	六十二	年
三十七	回	忌	昭和	五十八	年
五十	回	忌	昭和	四十五	年
百	回	忌	大正	九年	年

春分

桜始開（さくらをはじめてひらく）

昔から、桜の開花は山の神が里に降りてくる合図とされ、今でも桜の開花を見て田植えの時期を決める農家さんもいるそうです。自然学校の里山は少し遅めの田植えなのでお花見を楽しむ余裕があります。今年もまた稲苗づくりから稲刈り、トレッキングや観察会など季節ごとに色々なイベントを開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。



泥にまみれて夢中で田植えをする子どもたち

🐞🐞🐞🐞🐞🐞🐞 イベントだより 🐞🐞🐞🐞🐞🐞🐞

ーイトトンボの観察会ー



目を凝らしてもなかなか見つからない…

テレビカメラに興味津々。

普段はなかなか目にすることのないイトトンボを皆で目を皿のようにして探しました。ケーブルテレビの取材も来て賑やかな観察会となりました。

ーキノコ観察会と秋の収穫体験ー



エイッ!とキノコの菌を打ち込みます。

ホクホクの焼き芋をガブリ!

講師の方の都合が悪くなってしまい、急遽観察会ではなく菌打ち体験をしていただきました。収穫体験は大豆に自然薯。焼き芋も食べてお腹一杯!

🌸🌸🌸 イベントのご案内 🌰🌰

皆様のご参加をお待ちしております!

- | | | | |
|-------------|---------------|-------------|---------------|
| • 2月16日 (土) | 里山の野鳥観察会 | • 5月11日 (土) | 田植え体験 |
| • 3月30日 (土) | 里山のお花見トレッキング | • 5月12日 (日) | 田植え体験 |
| • 4月13日 (土) | 畔塗りと稲苗作り体験 | • 6月 1日 (土) | 田植えとゲンジボタル鑑賞 |
| • 4月14日 (日) | 畔塗りと稲苗作り体験 | • 6月 1日 (土) | 水路の生き物観察会 |
| • 4月21日 (日) | 巨木巡りと里山トレッキング | • 6月 8日 (土) | 田んぼの草取りとホタル鑑賞 |

※各イベントの詳細は同封のチラシまたはHPをご覧ください。



ご 古 里 紹 代 山 介 米 の の

● 古代米とは？

古代米とは、稲の原種である野生稲の特徴を受け継いだお米のことで、日本の食文化の原点ともいわれています。ビタミン・ミネラルなどを多く含み、古くからお祝いの席や記念日に食べられてきました。生命力が極めて強く、荒れ地で無肥料・無農薬でも丈夫に育ち、干ばつ・冷害にも強いのが特徴です。

● 古代米の食べ方

古代米は白米と混ぜて炊くと美味しく手軽に食べられます。白米1合に対して古代米大さじ1杯が目安です。お好みで分量を調整してみても良いでしょう。



さつまいもと赤米の炊き込みご飯

● 真光寺で栽培している古代米

真光寺の里山では赤米、黒米、緑米、紫米の4種類の古代米を栽培しています。赤米はうるち米、それ以外はもち米です。紫米は黒米の一種で、収穫時期は11月と遅く、また稲が太く機械で刈りいれないため、栽培できる量は少量です。今年はイノシシ被害もあり種籾を収穫するので精一杯でした。



赤米



黒米

● 古代米 **好評販売中** です！



色々米



古代米各種

価格表 **配送も承ります！**

古代米： 各種 ¥300
色々米： ¥600
もち米： ¥300

※色々米は古代米各種ともち米をブレンドしたものです。色々な栄養素をバランスよく摂取することができます。

お寺にて販売しております。配送も承りますのでお電話もしくはFAX、メールにてお問い合わせください。

ミャンマー仏教文化ツアー報告

真光寺職員 町田 敦

三日目後半 寺院学校と世界遺産

ヤダナミンズリ孤児院を後にした私達はジンチャンタウン寺院学校を訪れました。この学校は僧侶でもあるジャネインダ校長が1999年から運営されていて様々な事情から教育を受けることが出来ない子どもたちを受け入れています。さらに、ここでの中等教育を修了し高校へ進学したいという子どもたちのために私立学校も設立されました。学校の規模は大きくなり、生徒数も校舎の数も増えましたが、低学年の子供達はいまだに古い木造の校舎を利用せざるを得ない状況にあります。その様な状況を少しでも改善すべくSVAでは2016年度に2階建ての校舎と図書コーナーを建設する支援事業を行いました。



ジャネインダ校長



熱心に勉強する学生たち



木造の校舎は裏の森で伐採した樹木を使って建てられました。

ツアーも後半に入り、ここからはミャンマーの仏教文化に触れていきます。向かったのはタイエーキッタ

ヤーと呼ばれる巨大なパゴダ（仏塔）と城壁の残る遺跡です。私達が目指すのはタイエーキッタヤー遺跡の中でも代表的なポーボージーというパゴダで、46mもの高さがあり、ミャンマーのパゴダ巨大化の元になったものとも言われています。このパゴダは積み上げられた煉瓦がむき出しになっていて、所々崩れ落ちたり



仰ぎ見るほど巨大なパゴダ



ポーボージーパゴダ



延々と続く城壁

して重厚な雰囲気と歴史を感じることが出来ます。市内に戻った私達はミャンマー三大パゴダの一つ、シユエサンドーパゴダを訪れました。パゴダは市内のひとときわ高い丘の上にそびえ建っており参拝するにはまず巨大なエレベーターで一気に頂上まで昇るのですが、そこからはピイの街並みが一望できるほど眺めの良い場所にあります。パゴダの中には数多くの仏像があり、参拝にきた人たちが熱心に手を合わせてお経を唱えている姿から仏教が人々の生活の中に根付いているということがよく分かります。ミャンマーには八曜日という伝統暦があり、パゴダの中にはその曜日ごとの八つの祭壇があります。参拝者は自分の生まれた曜日の祭壇でお参りをするのですが、八つの曜日は方位・動物によって表されているので自分の曜日に当てはま

る動物の祭壇を探してお参りをするという仕組みになっています。



タイエーキッタヤーパゴダ



礼拝する糸田氏



自分の曜日の祭壇の前で礼拝する人々

四日目 岸壁の仏像たち

この日は船でしか行くことの出来ない、アカウタウンパゴダという岸壁の上に建てられたパゴダを見に行きます。ピイの街から車で一時間ほど南下したトンボーという村からボートに乗って川沿いに進んで行きます。この村は川沿いに位置するため水上交通網を利用した関所としての役割を果たしており、南北ミャンマーの交易地でした。しばらく進むと切り立った岸壁に彫られた無数の仏像が見えてきました。これらの仏像群が作られたのはおよそ百年前、交易のため通行していた船乗りたちが通行の許可を待っている間に船旅の安全を祈願して仏像を彫り始め、それが長年の間に増え続けこのような仏像群になったと言われています。確かに岸壁に所狭しと彫られた仏像たちの眼差しは、行き交う船の安全を見守ってくださっているようにも感じられました。

さて、明日は日本に帰国するため、これからまた何時間もかけてヤンゴンへ戻ります。SVAの活動から世界遺産まで、実に色々なことに触れる機会をいただいた。ピイを離れるのは名残惜しくもあります。



アカウタウンパゴダ



川沿いの村トンポー



岸壁に掘られた仏像群

五日目 ミャンマー最終日

ミャンマーでの最終日、私達はまずヤンゴンの日本人墓地を訪れ、追悼の法要を行いました。この墓地は1999年ヤンゴン日本人会によって市内の別の場所から移設されたもので、第二次世界大戦中にミャンマーで戦死された方や、戦後帰国することなく現地で亡くなった日本人の方々のために作られました。手入れの行き届いた庭園の中には、日本政府が建てたビルマ平和記念碑をはじめ、日本の団体による慰霊碑がいくつも建っていました。中にはあの「ビルマの堅琴」の主人公のモデルとなった方のお墓もあり、ミャンマーと日本の関わりやここに眠る方の人生を思うと、なんとも言えない感情が湧き上がってきました。法要は岡本住職と今回参加された2名の僧侶の3名で行われました。静かな墓苑にお経の音が響き渡り、辺りは荘厳な



平和を祈る慰霊碑



戦没者追悼の法要

雰囲気にもまれこの墓地に眠る方々への良き供養になったことと思われます。

今回のツアーで最後に訪れたのはミャンマー仏教最大の聖地と言われるシュエダゴン・パゴダです。名前は知らなくとも、写真は見たことあるというかたも多いのではないのでしょうか。最大の聖地と言われるだけあって建物も規模も豪華さも今まで見てきたパゴダとは桁違いです。高さは100m程もあり、金色に輝く部分は金箔ではなく黄金の板を何千枚も貼り付けています。さらにそれを取り囲むように林立する仏塔も、無数に配置された仏像も全てが金色に輝いているのです。その中でも特に面白いと思ったのが、特別に許可を受けた男性しか参拝が許されない仏像というものです。仏像は空調が完備された部屋に安置されていて、一般の参拝者は生中継のモニターを見ながら拝むという仕組みになっているのです。仏像は電飾によって延々と光り輝いており、これがミャンマーでのありがたさを表現する基準なのかと関心してしまいました。一通り広い境内を拝観して回った後、私も自分の動物の前で参拝をし、パゴダを後にしました。



庭園を思わせる日本人墓地

空港へ向かう道すがら、今回のガイドのヤンさんから衝撃的な告白がありました。実は、私達は入国してから今までミャンマーの秘密警察にマークされていたというのです。ヤンさんは私達が一体何の目的でミャンマーにやってきたのか、いつ、どこに行くのかなどスケジュールと行動を逐一報告させられていたそうです。これは海外からの旅行者の安全を守るための措置とのことですが、日本では考えられない事態に少なからず驚きを感じながらミャンマーを後にしました。



モニターに礼拝する人々



ミャンマー最大のパゴダ
シュエダゴン・パゴダ



宮殿のような建物群



巨大な仏像があちこちに

最後に

今回のツアーではSVAの活動のみならず、ミャンマーの文化や歴史、政治など様々な面に触れることが出来ました。戦士になりたいと言っていた男の子がどのような道を行くのか。そこにSVAの活動がどう関わっていくのか。その現場を見ることが出来た自分自身でも何か行動を起こせばと考えています。道中色々面倒を見てくださったSVAのスタッフの皆様、関係者の方々そして檀信徒の皆様深く感謝いたします。

行事予定

精進料理と聖典講読の会 《どなたでも参加できます》

日時：2月26日（火） 5月28日（火）
 3月26日（火） 6月25日（火）
 4月30日（火・祝） 7月23日（火）

午前11時～午後2時30分

費用：3,000円 昼食付（精進料理）

場所：真光寺

住職による『正法眼蔵随聞記』の解説の後、一緒に食事をして、午後は坐禅または写経を行います。昼食は、真光寺手作り精進料理や手打ちそばをお楽しみいただきます。



仏像彫刻教室 《どなたでも参加できます》

日時：毎月第1・第3水曜日
 13時30分～16時30分

費用：3,500円 / 1回参加

場所：真光寺（参加者が3名以上で開催）

仏師の先生にご指導頂き仏像を彫っていきます。初めての方でも大丈夫です。それぞれの方に合ったペースで、取り組みます。 ※要予約



坐禅会 《どなたでも参加できます》

日時：毎月第2・第4土曜日
 15時～16時30分

初心者の方もやさしくご指導いたしますので気軽にご参加ください。脚がくめない方は椅子を使って参加頂けます。休憩をはさんで2回坐禅をくみます。終了後は、僧侶と一緒に茶話会もごさいます。

※初めて坐禅をされる方は、簡単な説明を致しますので14時30分までにお越し下さい。

※予約不要



遺影撮影会 《どなたでも参加できます》

日時：3月30日（土）・31日（日）
 4月3日（水）・4日（木）
 27日（土）・28日（日）
 5月14日（火）・15日（水）
 21日（火）・27日（月）
 6月12日（水）・18日（火）

11時より 撮影はお一人15分程度

費用：5,000円（2L写真3枚、写真データ込）

まもなく花の季節を迎えます。真光寺の遺影撮影会では、季節の花々や新緑を背景に写真をお撮りします。優しく自然な表情でのお写真は、ご遺影と向かい合ったご遺族もきっと心安らぐ事でしょう。いざ！というときに備え是非ご参加下さい。上記日程以外もお受けできますのでご相談ください。

※要予約（雨天時は中止となります）

※撮影は僧侶の大御（おおみ）が担当します。葬儀、法事等で日程変更になることもございますがご了承下さい。



行事予定

【真光寺と駅、バスターミナル間の送迎もありますのでご希望の方は裏表紙をご参照ください。】

春彼岸法要

《檀信徒》

日時：3月24日（日）14時より

春のお彼岸供養を行います。法要後には余興を予定しております。

花まつり檀信徒総会

《檀信徒》

日時：4月6日（土）11時より

お釈迦様の誕生をお祝いし、法要後に檀信徒総会を行います。

紫陽花の会

《どなたでも参加できます》

日時：2月21日（木） | 5月16日（木）

3月14日（木） | 6月20日（木）

4月18日（木） | 7月18日（木）

午前11時より午後2時半頃

費用：1,000円 昼食付

境内や樹木葬墓地の植栽管理作業にご参加いただく会です。花咲く寺を目指しております。是非ご協力下さい！ ※要予約

戒名を考える会

《縁の会会員 未授戒の方》

日時：3月12日（火）午前11時より午後2時半頃

6月11日（火） //

費用：3,000円（昼食付）

戒名を考えることは、人生を振り返ることです。午前中は戒名にまつわる仏教知識を学び、昼食に精進料理を頂きます。午後には住職指導のもと、実際にご自身の戒名を考えます。考えた戒名は後日の授戒式にて正式に住職よりお授けし、位牌に刻銘の上、観音堂にご安置します。

※要予約

※持ち物：漢和辞典

七日法要

《縁の会会員》

日時：3月7日（木）	11時より授戒式・月例供養、昼食（精進料理）	午後は坐禅・写経・写仏
4月7日（日）	11時より授戒式・月例供養、昼食（お弁当）	午後は花まつり法要と植樹祭
5月7日（火）	11時より授戒式・月例供養、昼食（精進料理）	午後は坐禅・写経・写仏
6月7日（金）	11時より授戒式・月例供養、昼食（精進料理）	午後は坐禅・写経・写仏
7月7日（日）	11時より授戒式・月例供養、昼食（お弁当）	午後7月盆施食法要

7月・8月盆施食法要の詳細につきましては、6月発行予定の瓦谷山だよりに掲載いたします。
※要予約 午前、午後のみのお出席もできます。

ご詠歌練習日

《どなたでも参加できます》

2月 12日・26日 | 5月 14日・28日

3月 12日・26日 | 6月 11日・25日

4月 9日・23日 | 7月 9日・23日

時間 5月～9月は19時半・10月～4月は19時より

※ご詠歌は、お釈迦さまの教えを讃え、ご先祖さまをうやまう心をやさしい旋律にのせお唱えするものです。

真光寺囲碁の会

初心者入門基礎講座

《どなたでも参加できます》

日時：4月2日（火）～3日（水）

6月17日（月）～18日（火）

14時から翌日13時30分解散

費用：8,000円 1泊3食付

場所：真光寺

初心者の方も大歓迎！縁の会会員で日本棋院六段の先生に基礎から教わり、囲碁をはじめてみませんか？日帰りのご参加も可能ですのでお問い合わせください。

※要予約



縁の会春彼岸法要

《縁の会会員》

日時：3月21日（木祝）11時より

縁の会合同での春彼岸法要を行います。

昼食（お弁当）のご用意を致しますので、参列申込みの際にお弁当の要・不要をお伝え下さい。

欠席の場合でも花とうばのみのご供養もお受け致しますのでお申し付け下さい。

※要予約



猫たちと岡本住職夫人

表紙写真のこと

表紙写真を撮影した佐竹さんは、ドキュメントを得意とするフリーライターで、様々な場所に出会った人と猫を中心に、その暮らしや生きざまを写真と文章で表現しています。昨年春、何回か真光寺を訪れて、ペットとともに眠ることのできる樹木葬や真光寺の猫たち(みんな元は野良さんでした。)のことを取材。人も動物も草木もみな等しい命、やがて土に還る。という真光寺の考え方を丁寧にまとめてくださいました。朝日新聞 Web 版の「sippo」で記事が掲載されると、すぐにヤフーニュースのトップにもなり、大変な反響をいただきました。



団体参拝旅行

今年の団参旅行は弘法大師の開いた高野山金剛峯寺と、天台宗の本山、比叡山延暦寺を巡る旅です。途中、奈良の興福寺や東大寺にも立ち寄り二日目の旅館は琵琶湖のほとり雄琴温泉でゆっくりとお過ごし頂きます。恒例の夜の懇親会では住職を囲ん



でカラオケや四方山話でいつも盛り上がりつづけております。仏に出会い、人に出会うお寺の旅、是非一度ご一緒にしませんか？

現在、お申し込みがまだまだ少ない状況です。ご友人やご縁者の方も是非お誘い頂き、ご参加お待ちしております。

日程：平成31年4月21日(日)～23日(火)
旅行代金：80,000円 募集人数：35名(最低催行人数20名)

送迎のご案内【午前】

□電車の方

- ・上り電車の方 (君津発逗子行き)
JR内房線「袖ヶ浦駅」10時05分着
- ・下り電車の方 (快速君津行き)
JR内房線「袖ヶ浦駅」10時10分着

□バスの方

【土日祝】

- ・品川発9時00分→袖ヶ浦BT9時52分着
- ・横浜発9時00分→袖ヶ浦BT9時46分着
- ・川崎発8時55分→袖ヶ浦BT9時57分着
- ・新宿発8時50分→袖ヶ浦BT9時48分着
- ・東京発9時15分→袖ヶ浦BT10時03分着

【平日】

- ・品川発9時00分→袖ヶ浦BT9時52分着
- ・横浜発9時00分→袖ヶ浦BT9時46分着
- ・川崎発8時55分→袖ヶ浦BT9時57分着
- ・新宿発8時50分→袖ヶ浦BT9時48分着
- ・東京発9時15分→袖ヶ浦BT10時03分着

送迎のご案内【午後】

□電車の方

- ・上り電車の方 (木更津発普通千葉行き)
JR内房線「袖ヶ浦駅」12時51分着
- ・下り電車の方 (千葉発普通君津行き)
JR内房線「袖ヶ浦駅」12時50分着
(千葉12時18分発)

□バスの方

【土日祝】

- ・品川発11時35分→袖ヶ浦BT12時27分着
- ・横浜発12時00分→袖ヶ浦BT12時46分着
- ・川崎発11時45分→袖ヶ浦BT12時47分着
- ・新宿発11時20分→袖ヶ浦BT12時18分着
- ・東京発11時50分→袖ヶ浦BT12時38分着

【平日】

- ・品川発11時50分→袖ヶ浦BT12時42分着
- ・横浜発12時00分→袖ヶ浦BT12時46分着
- ・川崎発11時45分→袖ヶ浦BT12時47分着
- ・新宿発11時20分→袖ヶ浦BT12時18分着
- ・東京発11時50分→袖ヶ浦BT12時38分着

各種お申込み連絡先

真光寺 〒299-0201 千葉県袖ヶ浦市川原井634

TEL 0438-75-7414(代表) TEL 0438-75-7365(縁の会事務局) FAX 0438-75-7630

e-mail ennokai@shinko-ji.jp(縁の会)

satoyama@shinko-ji.jp(上総自然学校)